

●資源ごみの出し方(表3)

分別	缶類	金属類	びん類			ペットボトル	食品トレイ等
			無色透明びん	茶色のびん	その他のびん		
回収容器等	水色(缶類)のコンテナ	青色(金属類)のコンテナ	白色のコンテナ	茶色のコンテナ	黄色のコンテナ	ペット用コンテナ	緑色のアミ
主な品目	●アルミ缶、スチール缶、お菓子の缶、ミルク缶等 ※次の品目は「燃えないごみ」になります。 ●油が入っていた缶	●食用の缶、オイル缶、スプレー缶(必ず穴をあける)、調味料の缶、フライパン、やかん、鍋、針金、チーン、金属製のスプーン、びん等のふたで金属製のもの、金属製パケツ等	●フンカップ、ジュース、そばつゆ、コーヒー等の無色透明びん ※次の品目は「燃えないごみ」になります。 ●油が入っていたびん ●化粧品びん ●強化ガラス	●ドリンク剤、カルピス、養命酒、クレープ、醤油等の茶色のびん ※次の品目は「燃えないごみ」になります。 ●油が入っていたびん ●化粧品びん ●強化ガラス	●ウイスキー、酢、ワイン等の色の鮮やかなびん ※次の品目は「燃えないごみ」になります。 ●油が入っていたびん ●化粧品びん ●強化ガラス	●ジュース、焼酎、醤油等のペットボトル ※次の品目は「燃えないごみ」になります。 ●油が入っていたペットボトル ●ペットボトルのリサイクルマークのないもの	●魚、肉、野菜等が入った発泡スチロールトレイ ●豆腐等のプラスチックトレイ ●たまごパック
	出し方の注意	●水で中を洗いきれいにしてください。 ●金属製のキャップは金属類へ出してください。	●付着しているビニール、プラスチック類は取り除いてください。 ●スプレー缶は中味を使いきって必ず穴を空けて出してください。	●キャップ・栓・口金を取り除き、水で中を洗いきれいにしてください。 ●金属製のキャップは金属類へ出してください。	●水で中を洗いきれいにしてください。 ●プラスチックのキャップは燃えるごみへ出してください	●水で洗いきれいにしてください。 ●魚箱、家電製品等に入っている発泡スチロールは燃えるごみへ出してください。	●水で洗いきれいにしてください。 ●魚箱、家電製品等に入っている発泡スチロールは燃えるごみへ出してください。



私たちが生活する中で大量に出るゴミの山

# みんなでごみ問題

私たちが毎日の生活を送る上で、どうしても出てしまうごみ。現在は大量生産、大量消費の豊かな時代、私たちは物を大切にしている意識が薄れているのかもしれない。多くの自治体が増え続けるごみ問題を抱えているように、私たちの町も年々ごみが増え続けています。今月号では、ごみを減らすために私たちに何ができるかを考えてみましょう。

年間1人当たり  
6,500円も

町から排出されるごみは、須賀川市にある衛生センターで焼却、埋立処理されています。平成15年度に町から出されたごみの量は次のとおりです(表1・2参照)。

●燃えるごみ 3,147t

(年間1人当たり 247kg)

●燃えないごみ 168t

(年間1人当たり 13kg)

●資源物 259t

(年間1人当たり 20kg)

これらの、ごみの処理にかかる経費は、年間総額で8,355万円、1人当たりになると年間6,500円かかった計算になります。

何の役にもたない「ごみ」の処理にたくさんのお金が使われていることを考えると、少しでもごみを減らさなければと考えさせられます。

## 3RのRでごみを減らそう

### 第1のR「リデュース」

まずごみを減らそう。ごみを減らす一歩は「ごみになるものを増やさないこと」です。買うものが本当に必要なかどうか普段の行動をチェックしましょう。

また、お店で買い物する時は過剰包装を断り、マイバックを持参したり、使い捨て商品の購入を控えたりするなど賢い消費に心がけましょう。

食品トレイや牛乳パックなどは、できるだけお店に返すようにしましょう。

### 第2のR「リユース」

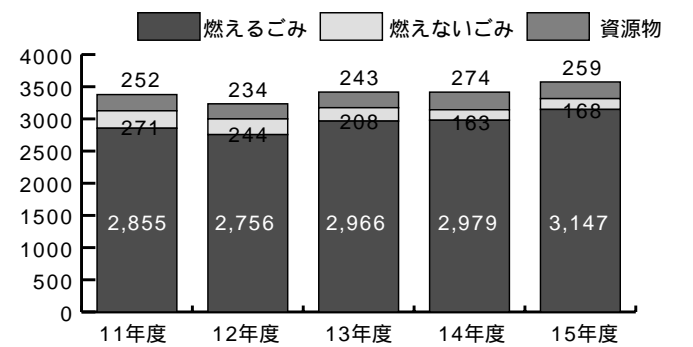
繰り返し使おう。ごみはいらなくなった時に初めてごみになります。繰り返し使えるものを選んで、使えなくなるまで捨てないでください。

また、壊れたらすぐに新しい物を買わずに直せるものは修理して使いましょう。バザーやリサイクルショップを利用すると家計が助かるだけでなく、ごみの減量にもつながります。

●ごみ処理経費など(表1)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
ごみ処理費用(万円)	9,586	8,656	8,859	8,961	8,355
1年間に出るごみの量(t)	3,378	3,237	3,417	3,416	3,574
人口(年度末の住基人口)	12,808	12,718	12,747	12,876	12,710
1日に出る町民1人当たりのごみの量(g)	722	697	734	726	770
町民1人当たりの処理費用(円)	7,484	6,806	6,950	6,959	6,574

●町から出るごみや資源物の量(表2)



### 一人100gのごみの減量を

町民一人ひとりが1年間に出すごみの量は、約280kg、1日当たりになると約770gになります。1人1日約100gのごみを減量すれば約13%のごみの減量が可能

「ちりも積もれば山となる」ということわざがありますが、近い将来、埋立地も満杯になる時がやってきます。町がごみの山とならないようにみなさんの協力をお願いします。

●レジ袋 約20枚分

●アルミ缶(500ml) 2本分

●広告ちらし 約8枚分  
「なんだ、それくらいか」と思うか、「結構大変じゃないか」と思うかは、人それぞれだと思えますが、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切ではないかと思えます。

### モラルをもって

最近町に、ごみの出し方やポイ捨て、ペットのフンなど様々な苦情が寄せられています。住みよいまちづくりのため、他人に迷惑をかけないようマナーを守りましょう。

●資源物はきれいに  
空き缶、空きびんなどの資源物は水でゆすいで出してください。

●ごみ出しルール  
分別していかないごみ、夜に出すごみ、収集日以外のごみ出しなど、ルールを無視したものが一部見受けられます。ごみを出す日はきちんと守りましょう。

### ごみの少ないまちを 目指して

先の3つのRを実行することが、ごみの減量の第一歩です。これからも、ごみの少ない美しいまちを目指しごみ処理や減量、分別収集にご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ先 町健康福祉課 ☎62-1115